

I 目的

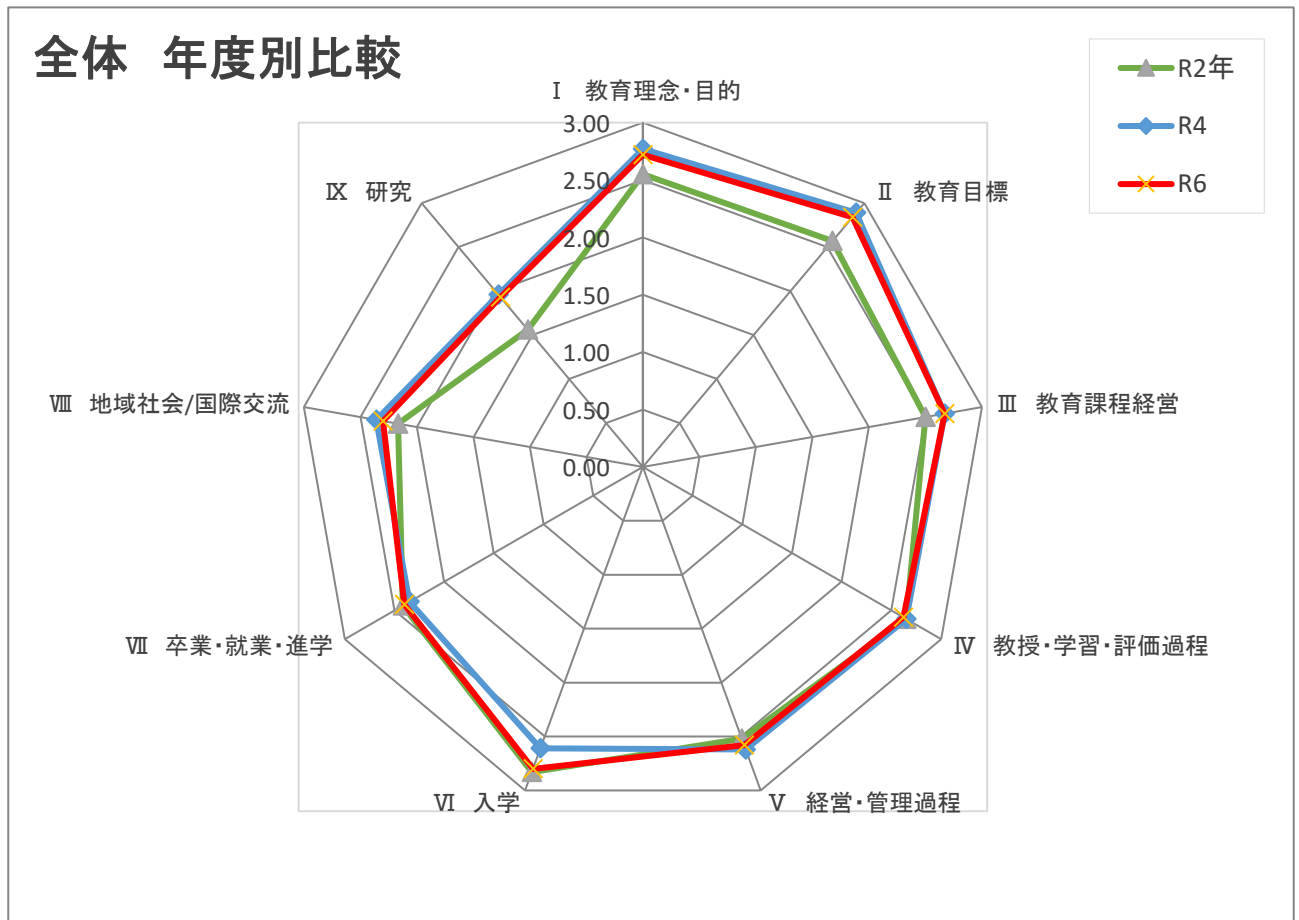
深川市立高等看護学院の教育理念・目的・目標に照らし、当学院の活動状況を把握するとともに、自らの教育活動を評価し、教育水準の維持、向上及び創意工夫のある教育の追及を図る。

II 自己点検自己評価方法

- 1 評価対象：専任教員 9 名
- 2 調査時期：令和 6 年 12 月
- 3 調査内容：厚生労働省の指針である「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針」に基づく評価（カテゴリー9 領域、125 項目）を用いて実施。
- 4 結果分析：3 段階の評価基準とし、「3 当てはまる」3 点、「2 やや当てはまらない」2 点、「1 当てはまらない」1 点とし、9 領域カテゴリーの平均点を算出。
過去 3 年間の結果を比較し分析を行う。

III 結果

1) カテゴリー別平均点



| | I | II | III | IV | V | VI | VII | VIII | IX |
|-------|---------|------|------------|--------------------|-------------|------|--------------|-------------------|------|
| | 教育理念・目的 | 教育目標 | 教育課程 経営 | 教授・学 習・評価 過程 | 経営・管 理過程 | 入学 | 卒業・就 業・進学 | 地域社会 /国際交 流 | 研究 |
| R 2 年 | 2.55 | 2.57 | 2.50 | 2.65 | 2.52 | 2.83 | 2.42 | 2.17 | 1.56 |
| R 4 年 | 2.77 | 2.89 | 2.67 | 2.65 | 2.62 | 2.61 | 2.35 | 2.36 | 1.96 |
| R 6 年 | 2.72 | 2.84 | 2.67 | 2.62 | 2.58 | 2.80 | 2.40 | 2.30 | 1.93 |

令和6年度の自己点検・自己評価では、授業内容の妥当性や入学者選抜の一貫性など、教育の基盤となる領域で改善がみられた。一方で、教育理念の浸透、評価計画の質、多面的評価、地域貢献、卒業生データの活用など、教育の質保証に直結する領域で課題が明確になった。

これらの結果を踏まえ、今後は理念の具体化と共有、評価体制の強化、地域・卒業生との連携強化を重点的に進める必要がある。

2) 9領域別の結果 別紙1

VI 課題への今後の取り組み

1. 実習施設・関係機関との綿密な共同・連携により、地域に根ざした教育活動を目指す。
2. 広報活動の継続及び入学試験選抜内容の検討
3. 卒業生及び就業先と連携を図り、卒業後の活動状況の調査を実施し、精神的支援への活用方法を模索していく。
4. 教員の資質の向上に向け、日々の教育活動について情報交換し検討し合う機会を計画的に設定するとともに、研究活動に取り組めるよう業務調整を行う。